

明治安田生命 夏に関するアンケート調査を実施！
現代人は疲れている？！
「夏休みの過ごし方」、理想・現実ともにトップは「自宅でゆっくり」。

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、お盆の帰省シーズンを前に、夏に関するアンケート調査を実施しましたので、ご報告します。

○夏休みの理想と現実（詳細は4～6 ページ参照）

■現代人は疲れている？！

「夏休みの過ごし方」、理想・現実ともにトップは「自宅でゆっくり」。

- 連続してとれる「夏休み平均日数」は6.3日。会社員・公務員では5.4日。
- 夏休みが短いから？それとも現代人は疲れているから？「夏休みの過ごし方」、意外にも、理想・現実ともにトップは「自宅でゆっくり」。
- でもやっぱり「海外旅行」にも憧れる？理想と現実でギャップ大。

○帰省は楽しみ？それとも負担？（詳細は7～11 ページ参照）

■楽しみなのは家族の笑顔！帰省はしたいが、経済的負担と帰省ラッシュが気がかり。

帰省の費用平均は4万4千円。10世帯に1世帯が10万円以上の出費！！

- 帰省の楽しみの第1位は、「両親兄弟の笑顔」。一方、帰省時に気にかかることは、「帰省費用の負担が大きい」が最も多く、次いで「道路、電車の混雑」。
- 帰省はしたいが大変なのは経済的負担。帰省の平均費用は4万4千円。
- 「ふるさと」という言葉には、どこか懐かしい響きあり。思い出すのは、故郷の自然の風景。そして方言、母の手料理！

○夏と言えば！（詳細は12～14 ページ参照）

■夏と言えば「花火」！

- 夏の風物詩のトップは「花火」。次いで「風鈴」、「すいか」。
- 風鈴の音を聞き、すいかを食べながら、縁側で花火をみるのが日本の夏？

■「夏休みの宿題」、もう一度やってみたいものは？

- 「自由研究」、「図画工作」、「ラジオ体操」がベスト3！
- 男性は「昆虫採集」が、女性は「ドリル（算数・国語等）」が上位にランクイン！

■夏をイメージする有名人。やっぱり強い「サザン」、「TUBE」！

- 夏をイメージする有名人には、「サザンオールスターズ」が1位、「TUBE」が2位。3位以下を大きく引き離しての堂々のワン・ツー。倅田来未さんが3位にランクイン！

対象者の属性

1. 調査対象

20～59才の男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2006年7月21日(金)～7月25日(火)

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,217人

6. 回答者の内訳

(単位：人)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	計
男性	145	150	156	151	602
女性	151	155	152	157	615
計	296	305	308	308	1,217

【目次】

1. 夏休みの理想と現実

(1)夏休みの日数は？ (4)

連続しての夏休み。今年の平均日数は6.3日。
会社員・公務員の平均日数は5.4日。

(2)「夏休みの過ごし方」、理想と現実 (5)

現代人は疲れている？！
「夏休みの過ごし方」、理想・現実ともにトップは「自宅でゆっくり」。
でもやっぱり「海外旅行」にも憧れる？理想と現実でギャップ大。

(3)「理想の海外旅行先」は？ (6)

理想の海外旅行先のトップは、「ハワイ・グアム・サイパン」。
ビーチリゾート強し！

2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(1)帰省の楽しみについて (7)

帰省の楽しみの第1位は、家族の笑顔！

(2)帰省で気にかかることは？ (8)

帰省はしたいが大変なのは経済的負担、そして渋滞・・・。

(3)帰省の交通費とお土産代は？ (9)

帰省の費用平均は4万4千円。10世帯に1世帯が10万円以上の出費！

(4)帰省の回数は？ (10)

ふるさとへの帰省はお盆とお正月。
男女別では、女性の帰省頻度が男性を上回る。

(5)「ふるさと」ってなんだろう？ (11)

思い出すのは、故郷の自然の風景。そして方言、母の手料理。

3. 夏といえば！

(1)夏の風物詩は？ (12)

夏と言えばやっぱり「花火」！
風鈴の音を聞き、すいかを食べながら、縁側で花火をみるのが日本の夏？

(2)「夏休みの宿題」、もう一度やってみたいものは？ (13)

「自由研究」、「図画工作」、「ラジオ体操」がベスト3！
男性は「昆虫採集」が、女性は「ドリル（算数・国語等）」が上位にランクイン！

(3)夏をイメージする有名人は？ (14)

やっぱり強い「サザンオールスターズ」、「TUBE」！ダントツの1位、2位！
倅田来未さんが3位にランクイン！

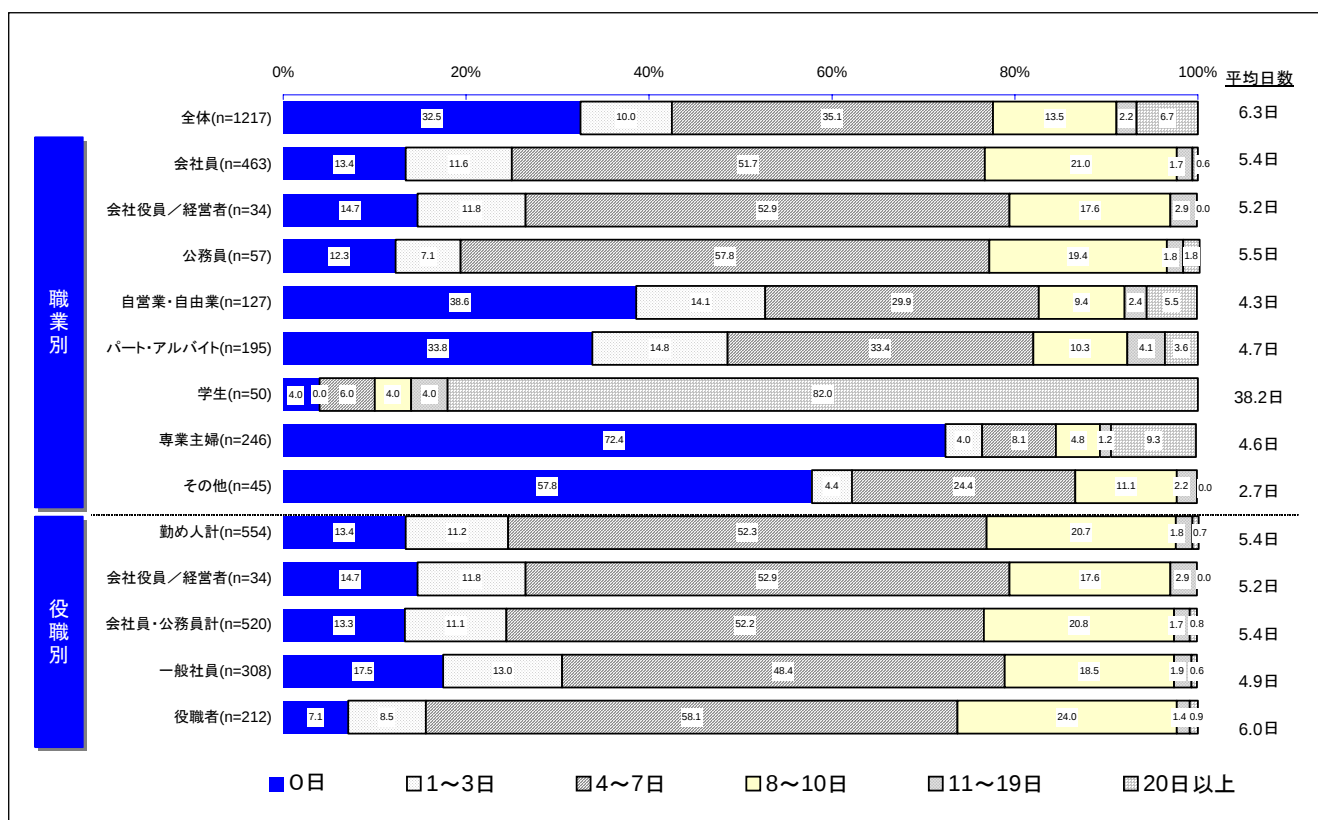
1. 夏休みの理想と現実

(1) 夏休みの日数は？

連続しての夏休み。今年の平均日数は 6.3 日。
会社員・公務員の平均日数は 5.4 日。

- ・ お盆の帰省シーズンを前に、まずは夏休みの日数について聞いてみました。
- ・ 連続して取得できる夏休みの平均日数は、土日を含めても 6.3 日。会社員・公務員では 5.4 日となっています。
- ・ 昔に比べ、休みがとりやすくなったと聞きますが、欧米で「バカンス」と呼ばれる長期休暇は、日本ではまだまだ夢なのでしょうか。
- ・ それにしても、学生の 38.2 日はうらやましいですね。
- ・ 一方、自営業・自由業の方は、休み無しの方が 38.6% もいます。仕事の関係上、この時期夏休みをとれないので、別にとる人もいるのでしょう。
- ・ ちなみに一般社員の夏休みは 4.9 日と役職者（6.0 日）より短いとの結果が出ました。上司とうまく調整し、ゆっくり休みたいものですね。

Q. あなたの夏休みの日数は？（土日を含め連続しての日数）



1. 夏休みの理想と現実

(2)「夏休みの過ごし方」、理想と現実

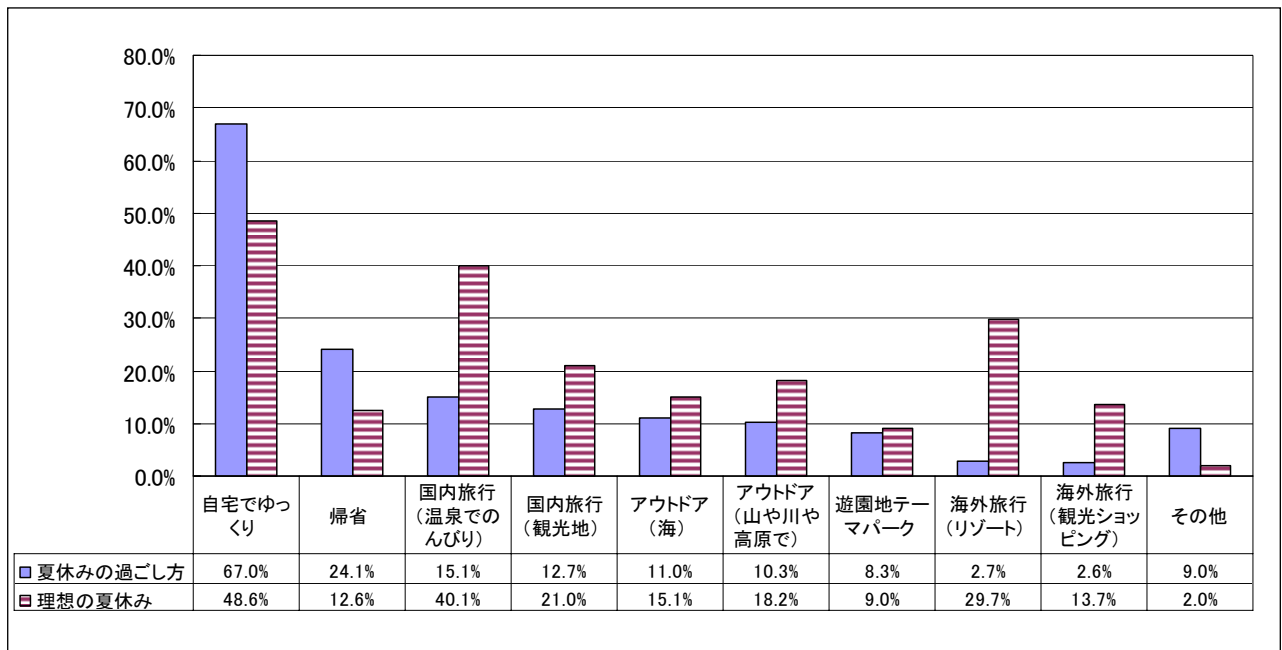
現代人は疲れている？！

「夏休みの過ごし方」、理想・現実ともにトップは「自宅でゆっくり」。でもやっぱり「海外旅行」にも憧れる？理想と現実でギャップ大。

- ・ 夏休みは平均 6.3 日とあまり長く取得できないとのことですが、みなさまどのように過ごしているのでしょうか。理想と現実を聞いてみました。
- ・ 「現実の夏休みの過ごし方」のトップは「自宅でゆっくり」の 67.0%。以下、「帰省（24.1%）」、「国内旅行（温泉でのんびり）（15.1%）」と続いています。まずは心も体も自宅でリラックスといったところでしょうか。
- ・ 一方、「理想の夏休みの過ごし方」ですが、意外にも“現実”と同じで「自宅でゆっくり（48.6%）」が一番多くなっています。以下、「国内旅行（温泉でのんびり）（40.1%）」、「海外旅行（リゾート）（29.7%）」と続いています。どれもものんびり、ゆっくり過ごすのがテーマのようです。現代人は疲れているのですね。
- ・ 理想と現実で最もギャップが大きいのは、「海外旅行（リゾート）」で 27 ポイント。「海外旅行（観光ショッピング）」も理想と現実で 11.1 ポイントの開きがあります。本当は、ゆっくり、ゴージャスに海外旅行に行きたいのだけれど、現実には、夏休みの短さも影響し「自宅でゆっくり」、「帰省」なのかもしれませんね。

Q. 夏休みは、どのように過ごしますか（過ごしましたか）？（複数回答）

Q. あなたの理想の夏休みの過ごし方は？（複数回答）



1. 夏休みの理想と現実

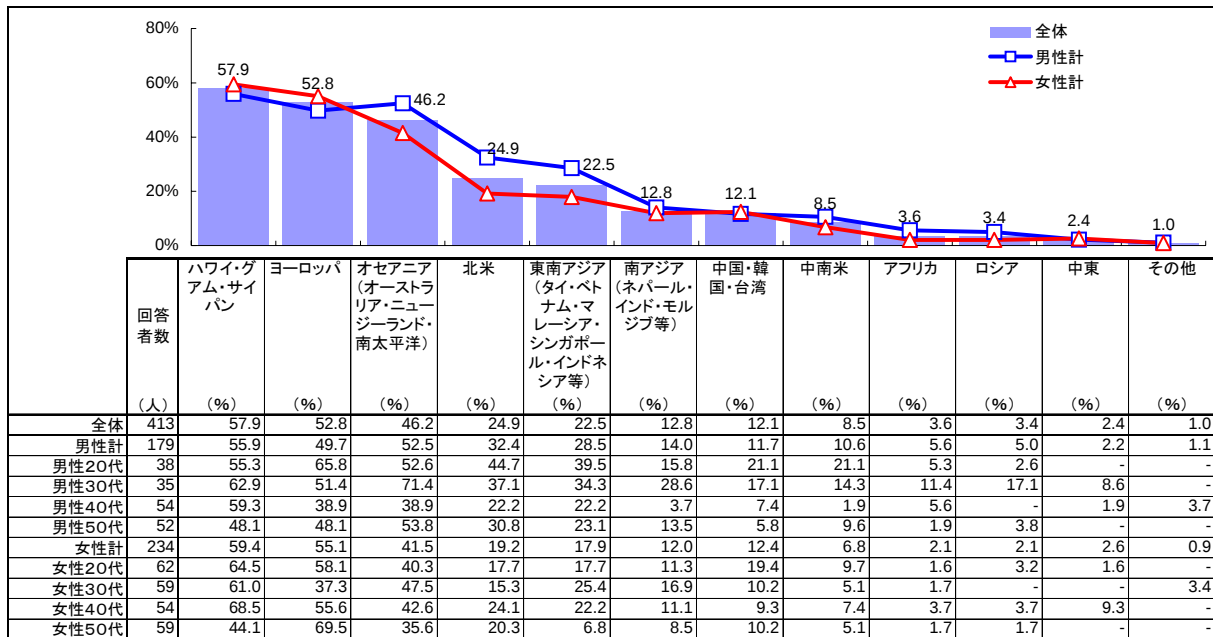
(3)「理想の海外旅行先」は？

**理想の海外旅行先のトップは、「ハワイ・グアム・サイパン」。
ビーチリゾート強し！**

- ・ 理想と現実の調査で最も差が大きかったのは、海外旅行。では行き先はどこに人気があるのでしょうか。
- ・ 「理想の海外旅行先」のトップは、「ハワイ・グアム・サイパン」のビーチリゾートが 57.9% でトップ。次いで「ヨーロッパ (52.8%)」、「オセアニア (オーストラリア・ニュージーランド・南太平洋) (46.2%)」となっています。
- ・ 男女別の調査では、女性の 20 歳代～40 歳代は「ハワイ・グアム・サイパン」の人気が高いのですが、女性 50 歳代になると、「ヨーロッパ」が 69.5% と、「ハワイ・グアム・サイパン」の 44.1% を大きく上回っているのが特徴です。

Q. 理想の海外旅行先は？ (複数回答)

(あなたの理想の夏休みの過ごし方で海外旅行を選択された方)



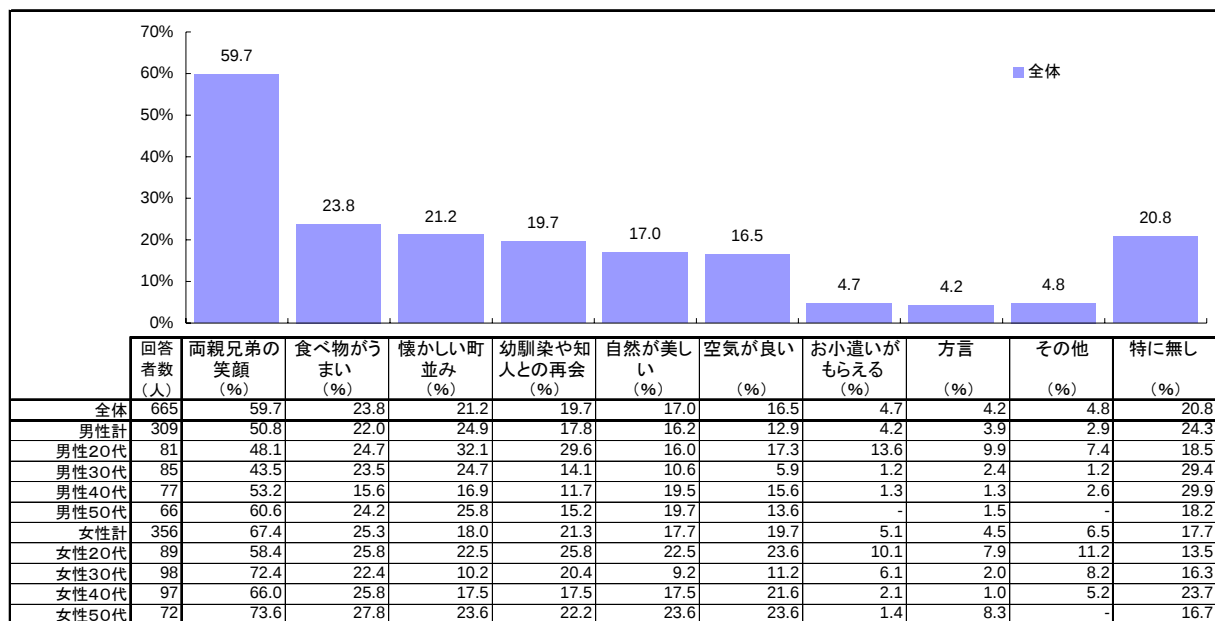
2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(1) 帰省の楽しみについて

帰省の楽しみの第1位は、家族の笑顔！

- ・ 夏はお盆の帰省のシーズン。この時期、忙しい生活を送っている人々も故郷に思いをはせることが多いと思います。そこで帰省の楽しみを質問しました。
- ・ 帰省する楽しみのトップは「両親兄弟の笑顔（59.7%）」。「食べ物がうまい（23.8%）」、「懐かしい町並み（21.2%）」、「幼馴染や知人との再会（19.7%）」と続いています。
- ・ 「両親兄弟の笑顔」は2位に30ポイント以上の差をつけています。帰省はやっぱり、両親、兄弟との水入らずの団欒が大きな楽しみの一つようです。
- ・ 「懐かしい町並み（21.2%）」、「自然が美しい（17.0%）」、「空気が良い（16.5%）」と自然の良さを挙げる人も多く、普段の生活では味わえない自然の良さを求めている様子もうかがえます。
- ・ 年齢別では、男女とも20歳代で、「幼馴染や知人との再会」が他の年代よりも高くなっています。ふるさとに残っている友人やこの時期都会から戻ってくる友人との再会を楽しみにしているのでしょうか。また、この年代はまだまだお小遣いをもらえる年代なのでしょう、男女とも10%以上の人が「お小遣いがもらえる」と答えています。

Q. 帰省する楽しみは何ですか？（複数回答）



※帰省する回答者ベース

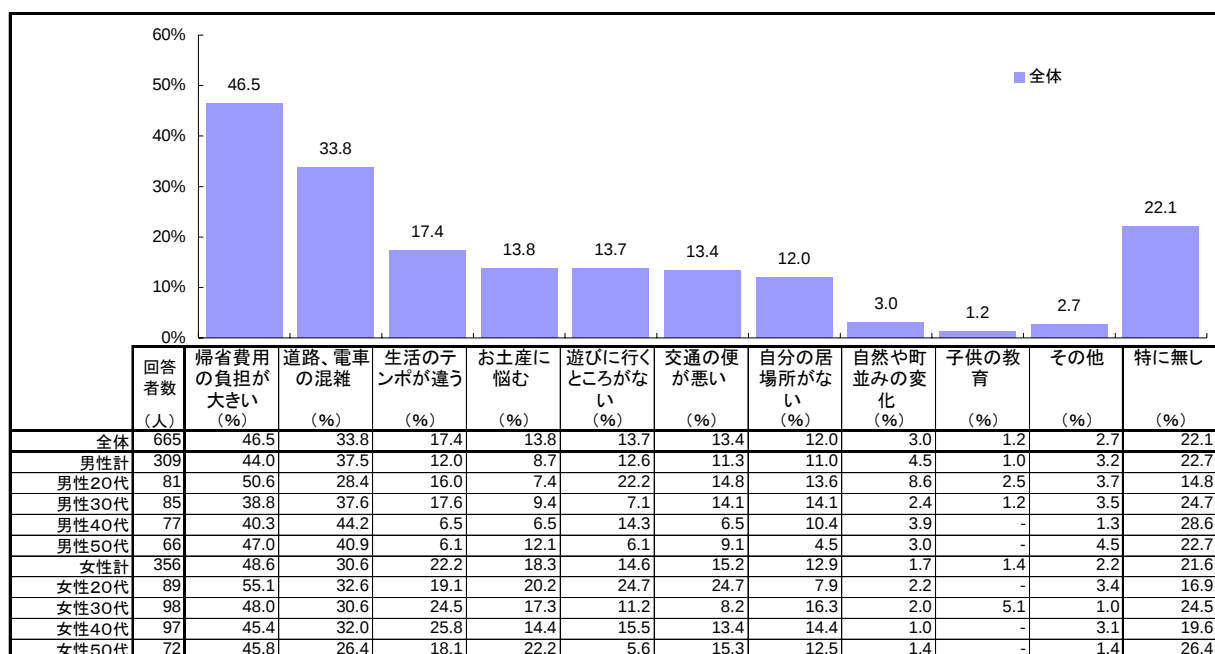
2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(2) 帰省で気にかかることは？

帰省はしたいが大変なのは経済的負担、そして渋滞・・・。

- ・ 楽しみの次は、帰省で気にかかることを聞いてみました。
- ・ 帰省時に気にかかることは、「帰省費用の負担が大きい」が最も多く 46.5%。次いで「道路、電車の混雑 (33.8%)」となっています。最近のお盆の帰省混雑は分散化傾向とも言われますが、依然負担が大きいことには変わらない模様です。
- ・ 男女別では、男性では、女性に比べ「道路、電車の混雑」を挙げる人が多く、女性では「お土産に悩む」が男性を大きく上回っています。お父さんが運転し、お土産を用意するのはお母さんと、役割を分担している様子が見えがえます。
- ・ 3位には、「生活のテンポが違う (17.4%)」となっています。普段の生活から離れることを望んでいるにも関わらず、自分の生活のリズムを崩されることに抵抗を感じているのかもしれませんが。
- ・ しかし、せっかく高い費用と渋滞に打ち勝って帰省したのですから、ふるさとのゆっくりしたリズムで過ごしたいものですね。

Q. 帰省する際に気にかかることは何ですか？（複数回答）



※帰省する回答者ベース

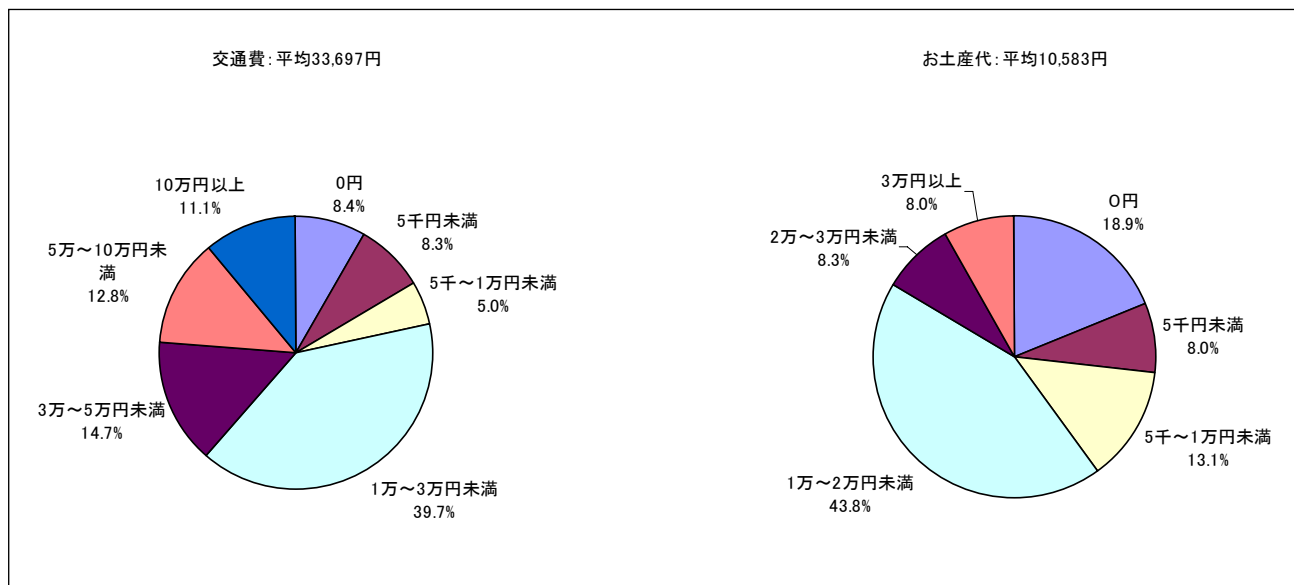
2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(3) 帰省の交通費とお土産代は？

**帰省の費用平均は4万4千円。
10世帯に1世帯が10万円以上の出費！**

- ・ 帰省はしたいが大変なのは経済的負担とのこと。では実際の交通費とお土産代はどれぐらいなのでしょう。
- ・ 交通費は、「1～3万円（39.7%）」、「3～5万円（14.7%）」、「5～10万円（12.8%）」となっており、平均で3万3,697円となりました。
- ・ 一方、お土産代は、「1～2万円（43.8%）」で最も多くなっており、平均で1万583円となっています。世帯あたり合計4万4千円が平均的な帰省の交通費プラスお土産代のようです。
- ・ 帰省先が近い人は、交通費「0円（8.4%）」、お土産を購入しない「0円（18.9%）」と、費用がかからない人もいますが、その一方で交通費では10世帯に1世帯が「10万円以上」かかるとしており、帰省先から離れて暮らす方にはやはり大きな出費となるようです。
- ・ 家族構成別では、交通費・お土産代合計で、学生26,891円、未婚29,876円、既婚子供無し31,874円、既婚子供有り53,844円との結果となっており、家族の人数が増えるにつれ、経済的負担も大きくなっています。

Q. 1回の帰省の予算は？（交通費、お土産代。世帯単位）



	平均交通費	平均お土産代	合計
全体	33,697	10,583	44,281
学生	22,239	4,652	26,891
未婚	22,704	7,171	29,876
既婚	37,808	11,860	49,668
子供なし	24,037	7,837	31,874
子供あり	41,041	12,804	53,844

※帰省する回答者ベース

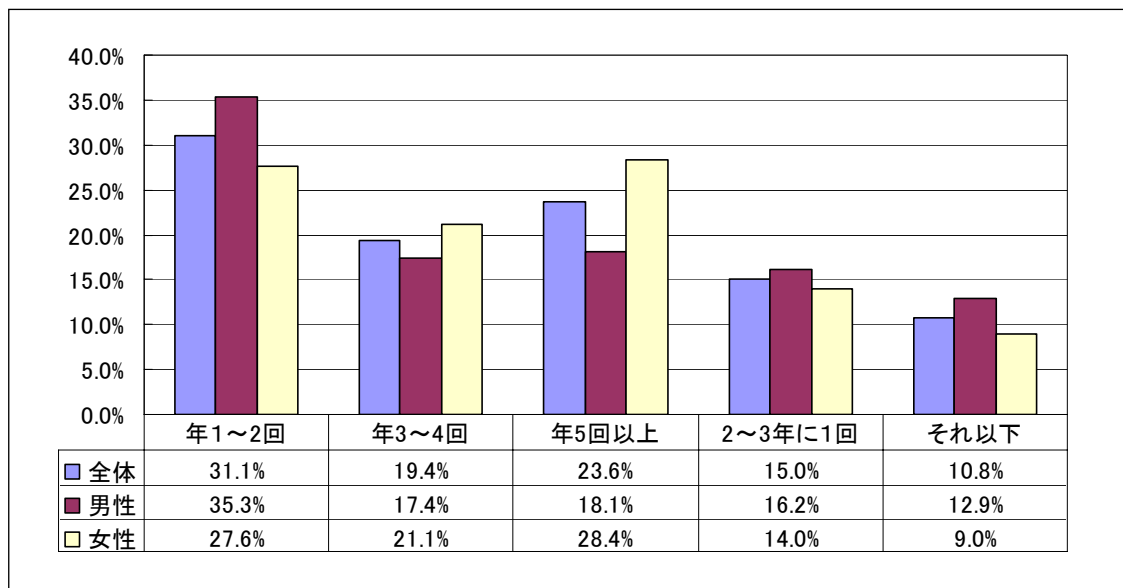
2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(4) 帰省の回数は？

**ふるさとへの帰省はお盆とお正月。
男女別では、女性の帰省頻度が男性を上回る。**

- ・ それでは、年に平均してどれくらい帰省しているのでしょうか。
- ・ ふるさとへの帰省の頻度は、全体では、年1～2回が31.1%と多くなっています。帰省は金銭的にも体力的にも大変とは言うものの、お盆とお正月の2回ぐらいは「ふるさと」に帰る方が多いのでしょうか。
- ・ 男女別では、男性では年1～2回が35.3%と多いのですが、女性では年5回以上が28.4%と多くなっています。女性のほうが男性よりも帰省する回数が多いようです。
- ・ テレビドラマでは、夫婦喧嘩の後に、奥さんが実家に帰ってしまう、なんてシーンがありますが、それも帰省に含まれているのでしょうか。

Q. あなたは、どの位の頻度で帰省されますか？



※帰省する回答者ベース

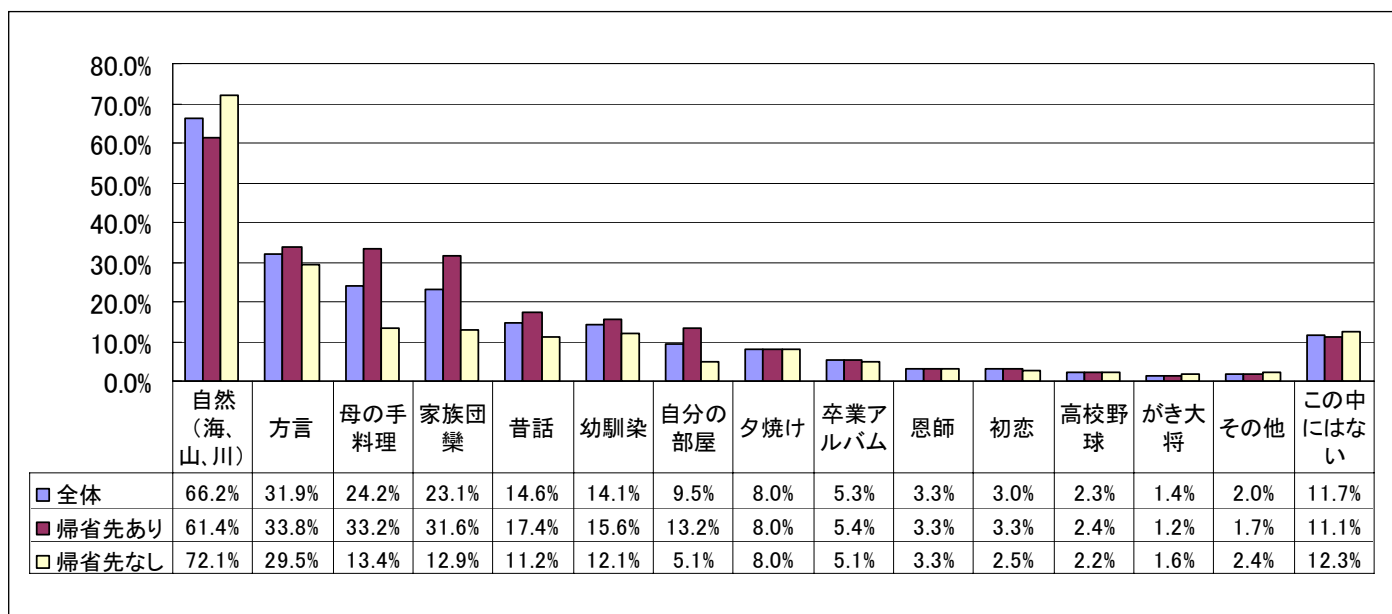
2. 帰省は楽しみ？それとも負担？

(5)「ふるさと」ってなんだろう？

思い出すのは、故郷の自然の風景。そして方言、母の手料理。

- ・「ふるさと」という言葉には、どこか懐かしい響きがあります。そこで「ふるさと」と聞いて思い浮かべるものを聞いてみました。
- ・「ふるさと」と聞いてまず思い浮かべるものは、「自然（海、山、川）」が66.2%とダントツの1位となっています。以下、「方言（31.9%）」、「母の手料理（24.2%）」と続いています。
- ・帰省先がある人では、「母の手料理」が33.2%、「家族団欒」が31.6%と全体よりも高くなっています。実家と離れて暮らす人にとっては、家族や、ふるさとの味が恋しく感じられるのかもしれません。

Q.「ふるさと」と聞いて思い浮かべることは何ですか？（複数回答）



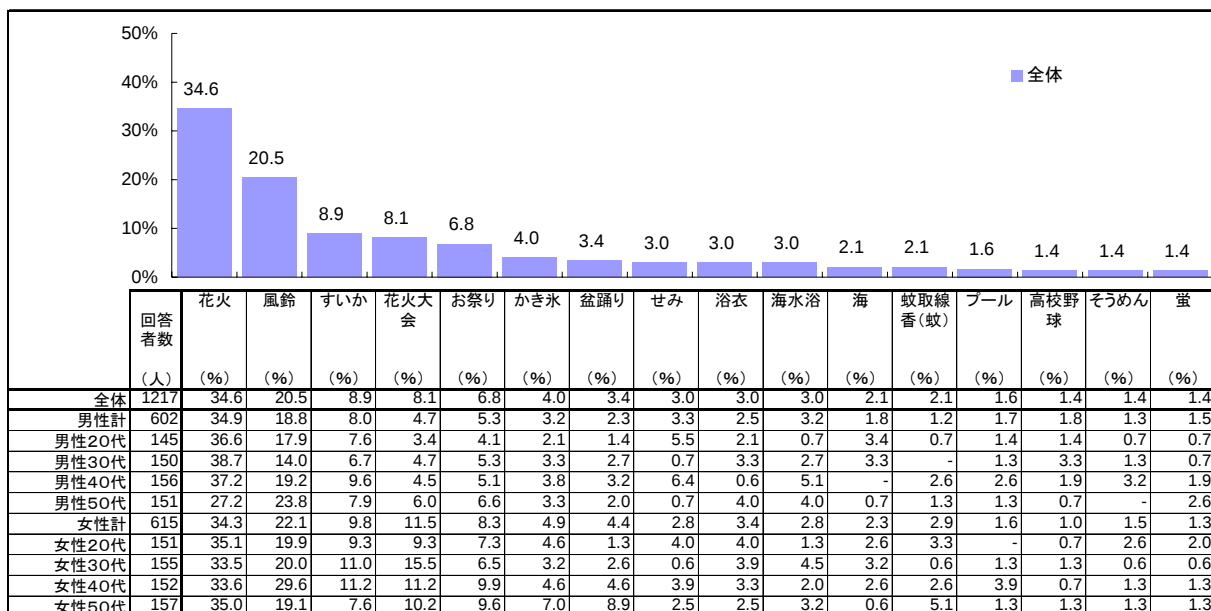
3. 夏と言えば！

(1) 夏の風物詩は？

夏と言えばやっぱり「花火」！
風鈴の音を聞き、すいかを食べながら、縁側で花火をみるのが日本の夏？

- ・ 毎日暑い日が続きますが、夏と言えば思い浮かぶ風物詩を聞いてみました。
- ・ 夏の風物詩のトップは「花火」の34.6%。次いで「風鈴（20.5%）」、「すいか（8.9%）」、となっています。4位の「花火大会（8.1%）」もあわせると42.7%が「花火・花火大会」を挙げています。以下「お祭り」、「かき氷」、「盆踊り」と続きます。
- ・ 花火は外国でも一般的ですが、日本の夏と言えば、風鈴の音を聞き、すいかを食べながら、縁側で花火をみる。そんな光景が目には浮かぶのかもしれませんが。日本の夏のイメージは、意外と古き良き時代の夏そのままのようです。
- ・ 男女別では、「花火大会」で女性が11.5%と男性の4.7%を上回っています。同じ「花火」でも、男性は自分でする「花火」を、女性は見る「花火大会」を夏の風物詩として挙げているのかもしれませんが。
- ・ 第7位にランキングされた盆踊り。年代別でみると、若くなるにつれて減少しています。夏の風物詩としての盆踊り、若い世代に受け継がれていくと良いですね。

Q. 夏の風物詩と言えば？（自由回答）



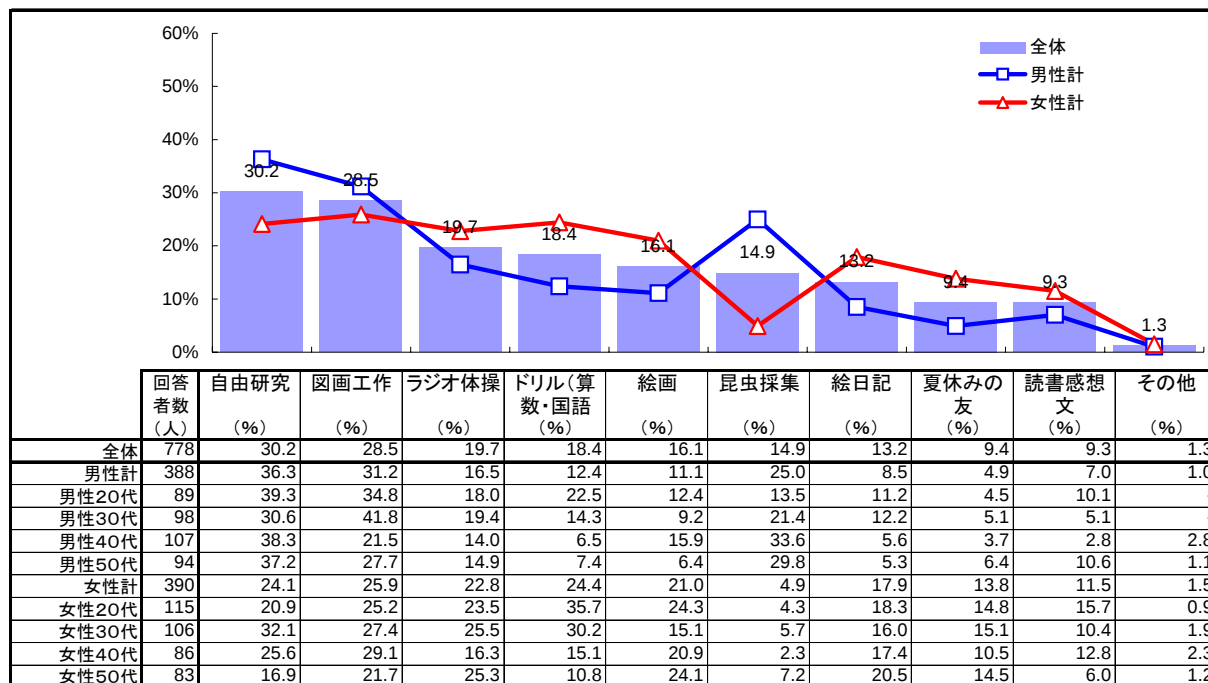
3. 夏と言えば！

(2)「夏休みの宿題」、もう一度やってみたいものは？

**「自由研究」、「図画工作」、「ラジオ体操」がベスト3！
男性は「昆虫採集」が、女性は「ドリル（算数・国語等）」
が上位にランクイン！**

- ・ 子供の頃に宿題といえば、ほとんどの人にとって嫌なものでしたよね。
- ・ 大人になった今、もう一度やってみたい「夏休みの宿題」を聞いてみました。
- ・ ベスト3は、「自由研究」、「図画工作」、「ラジオ体操」。
- ・ 男女別では、女性で4.9%と少ない「昆虫採集」が、男性では、25.0%となっています。童心に戻って、アミと虫かごを手に、昆虫採集することは、大人になっても男のロマンなののでしょうか。それとも、昨今子供たちの間で巻き起こっている昆虫ブームをお父さんたちが目の当たりにして、幼少時代を懐古しているのでしょうか。
- ・ 女性でも、「図画工作」(25.9%)、「自由研究」(24.1%)は男性と同様に高くなっていますが、「ドリル（算数・国語等）」が24.4%と男性より高いのが特徴です。小学校時代、女の子はみんな宿題をやってきましたが、直前になってドリルを写している男の子、いませんでしたか。

Q. あなたが、もう一度やってみたいと思う夏休みの宿題は何ですか？（複数回答）



3. 夏と言えば！

(3) 夏をイメージする有名人は？

**やっぱり強い「サザンオールスターズ」、「TUBE」！
ダントツの1位、2位！倅田来未さんが3位にランクイン！**

- ・最後に夏をイメージする有名人を聞いてみました。
- ・夏をイメージする有名人には、「サザンオールスターズ」が1位、「TUBE」が2位となりました。3位以下を大きく引き離しての堂々のワン・ツーです。
- ・「サザンオールスターズ」の曲も、「TUBE」の曲も、この時期どこかで必ず流れていますよね。
- ・続いて3位には、倅田来未さんがはいりました。
- ・4位以下は、CMやテレビドラマの出演の多い、速水もこみちさん(4位)、上戸彩さん(5位)、「えびちゃん」こと蛭原友里さん(6位)となっています。

Q. この夏をイメージする有名人をお知らせください(複数回答)

